P

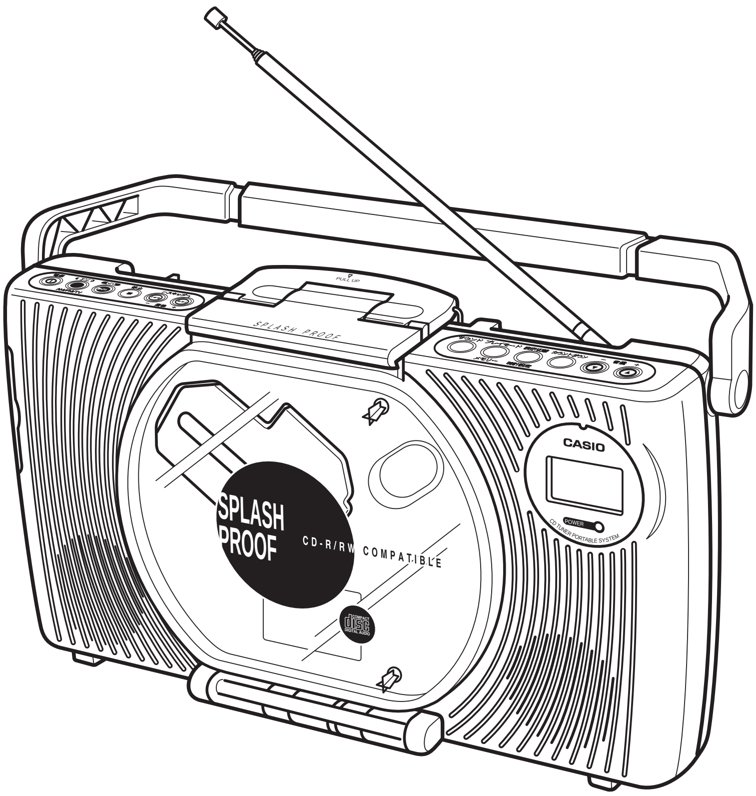
CASIO

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

ポータブルCD／チューナーシステム

AJ-17

取扱説明書（保証書別添）



ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上で、正しくお使いください。
本書は、お読みになったあとも、大切に保管してください。

本機を使用できるのは日本国内のみです。
This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.

はじめに

このたびは、ポータブルCD／チューナーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本機の機能・性能を十分にご理解いただき、末永くご愛用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお取扱いくださいますようお願い申し上げます。

目　次

●音のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮（おもいやり）を十分いたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さい音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●著作権について

あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

●あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、ご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用するほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、予告なく変更することがあります。

5375-920-0-01B

安全上のご注意

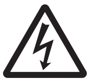
DRDD0108B0108

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。
（左の例は分解禁止）



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜け）

この安全上のご注意は、当社のオーディオ機器全般の注意事項を記載しています。（今回お買い上げの機種には当てはまらない内容も含まれています。）

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

アルカリ電池に注意する

●アルカリ電池から流れたアルカリ液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。
- そのままにしておくと失明の原因となります。

一般指示

⚠ 警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするときは、すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜け

⚠ 警告

- 万一、内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。それから販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

5375-920-0-01B

次ページに続く↓

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。それから販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く。そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

一般指示

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷にしない。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。（コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。）
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- 風呂やシャワー室など、湿気の多い場所には長い時間放置しない。火災や感電の原因となります。
- 乾電池は、充電しない。電池の破裂・液もれにより、火災・けがの原因となります。

一般禁止

- 風呂、シャワー室など水まわりでご使用の際は、必ず電池を使用する。ACアダプターをご使用になると感電の原因となります。
- 本機に使用している電池を取り外した場合は、小さなお子様があやまって飲むことがないように、手の届かないところへ置く。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

一般指示

- 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れない。感電の原因となります。

接触禁止

- 屋外で使用していて、雷が鳴りだしたら、すぐに使用を中止する。〈機器から離れる〉落雷・感電の原因となります。

一般指示

⚠警告

- 本機を改造しない。火災・感電の原因となります。
- 本機のキャビネットは絶対に外さない。内部には、電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

分解禁止

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する。表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

一般指示

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しない。火災の原因となります。

一般禁止

- 本機内部に水や液体が入ると、火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かない。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。それから販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

- 本機の通風孔をふさがない。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
つぎのような使い方はしない。
・本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
・本機を風通しの悪い狭い所に押し込む。
・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
- 本機の通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしない。火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

一般禁止

5375-920-0-01B
次ページに続く↓

⚠注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけない。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しない。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やホコリの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。
- 設置にあたり、電源コード、AC アダプター等のコード類は、引っかかりによる落下、転倒がないように処理する。けがの原因となります。

一般禁止

- テレビ、オーディオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電池を入れるときは、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意し、表示どおりに入れる。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 本機には、付属のACアダプターを使用する。それ以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

一般指示

⚠注意

- 長時間使用しないとき、常時家庭用コンセントでご使用になるときは、電池を取り出しておく。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

一般指示

- 指定以外の電池は使用しない。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池、電池ケースは、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しない。電池のプラス⊕端子とマイナス⊖端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

一般禁止

- 旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う。感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

次ページに続く↓

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

- 一年に一度くらいは、本機内部の掃除を販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご相談ください。本機の内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご相談ください。

一般注意

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。差し込みが不完全ですと発熱したりホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

一般指示

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

一般禁止

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。外部の接続コードを外してから行ってください。

電源プラグをコンセントから抜け

- 持ち運びするときは、アンテナをたたむ。伸ばしたまま持ち運びするとアンテナが引っかかったり、当ったりしてけがの原因となることがあります。

一般指示

- お子様がディスク挿入口に手を入れないように注意する。けがの原因となることがあります。

指を挟まれないよう注意

⚠注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎない。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力障害を起こすことがあります。
- レーザー光源をのぞき込まない。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- 包装材などを保管する場合は、火気の近くに置かない。引火して火災の原因となることがあります。

一般禁止

- プラスチック製の袋は幼児の手の届かないところへしまっておく。頭から被ったり、顔を覆ったりすると窒息する恐れがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しない。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

健康上のご注意

回転しているディスクは見続けないでください。ごくまれに、印刷されている柄によっては、回転しているディスクを見続けると、頭痛、吐き気等、気分が悪くなる場合があります。このような症状が起きたときは、すぐに再生を停止し、医師の診察を受けてください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！
こんな症状はありませんか？

- ACアダプターやコードが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご相談ください。

5375-920-0-01B

主な特長（これ１台でこれだけできる!）

● JIS 防水保護等級６耐水形相当。お風呂場、プールサイドなどでもお使いになれます。

●CD-R/RW録音機器で作成したCD-R/RWディスク（CD-DAフォーマットのみ）の再生も可能です。
（CD-DAフォーマットとは：音楽用に開発されたCDの規格）

● CD でいろいろな再生が可能です。
- 24曲まで聴きたい順に再生できる、プログラム再生。
- 好きな曲、好きなCDを何度も繰り返すリピート再生
- 無作為に曲順を決めるランダム再生。

●もちろんラジオも使えます。
- テレビの音声も聞けます（TV1 ～ 12ch）。
- AM 放送、FM ステレオ放送受信。

● オリジナルサラウンドシステムの採用により、広がりのある音をお楽しみいただけます。

● 3 ポジションのプリセットイコライザー内蔵。

● 便利なカウントダウンタイマー機能

● オートパワーオフが働きます。
CDをお楽しみいただいているとき、５分間待機状態が続きますと、自動的に電源が切れ、無駄な電力消費を防ぎます。（ラジオを使用中の場合はオートパワーオフ機能は働きません。）

【付属品】

● AC アダプター（AD-L95075A）× 1
● 補助アンテナ× 1
● 取扱説明書（本書）× 1
● 保証書

ご使用の前に

本体の取扱いについて

●極端な温度、日差しの強い場所には放置しないでください。

●窓を閉めきった自動車内での放置はしないでください。

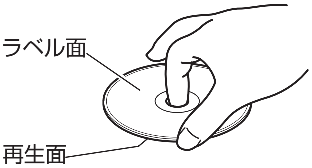
※ 本機の変形や、表示部が故障する原因となります。また０℃以下、40℃以上になると、表示部の映りが悪くなることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。（使用温度：０℃～40℃）

結露について

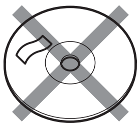
本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。このような場合には、約１時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱上のご注意

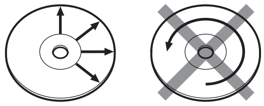
●再生面を触れないように持ってください。



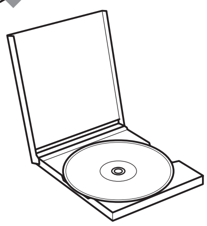
●再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



●ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



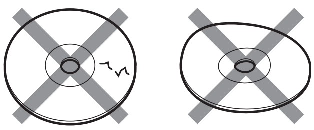
●長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



●ディスクに

のマークが入ったものをご使用ください。

ディスク使用上のご注意



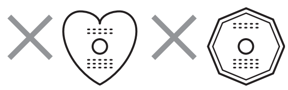
ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。

●再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひびや割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

● CD-R/RW の再生について
本機は、CD-R/RW 録音機器で作成した CD-R/RW ディスク（CD-DA フォーマットのみ）の再生も可能です。
CD-R/RW ディスクの状態や記録状態、記録機器の状態によっては、本機で音飛び、ノイズが発生したり、再生できないものがあります。

ご注意

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。



5375-920-0-01B

防水について

本機は日常生活上の防水（JIS 保護等級 6 耐水形相当）が施されており、雨や水しぶきがかかるところでも使える防水仕様となっておりますが、次の点に十分ご注意の上ご使用ください。

（1）水の中には入れないでください。

（2）高い水圧がかかる所でのご使用や水中に沈めることは避けてください。誤って湯舟やプールの中に落とした場合は、すぐに拾い上げてください。

（3）多量の水をかけないでください。

（4）多量の雨や水滴がついたときは、すぐに乾いた布などで十分に拭き取ってください。

（5）風呂、シャワー室など水まわりでご使用の際は、必ず電池を使用してください。AC アダプターは絶対に使用しないでください。AC アダプターをご使用になると感電の恐れがあります。

- 風呂、シャワー室など、湿気の多い場所には長い時間放置しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手で AC アダプターに触れないでください。感電の原因となります。

（6）CD カバーや電池ぶた、入出力端子ぶたの開閉は十分に水を拭き取った後、湿気が少なく、かつ水がかからない所で乾いた手で行ってください。風呂、シャワー室など湿気の多い場所でのCD カバーの開閉、電池交換は絶対に行わないでください。火災・感電・故障の原因になります。

（7）水がかかる恐れがある場合は、CD カバーや電池ぶた、入出力端子ぶたを閉めて確実にロックしてご使用ください。

（8）CD カバーや電池ぶた、入出力端子ぶたを閉じるときに微細なゴミ（髪の毛や砂粒など）が挟まらないようご注意ください。ふたを閉じるとき、わずかでも水滴、砂、汚れなどが付着している場合は、必ず湿気が少なく水がかからない所で、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

（9）CD カバーや電池ぶた、入出力端子ぶたまわりのゴムパッキンは、防水機能を維持するための大切な部品ですので、汚れや傷がつかないようにご注意ください。

（10）ヘッドホンは風呂、シャワー室など湿気の多い場所では使用しないでください。

（11）石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸さないでください。

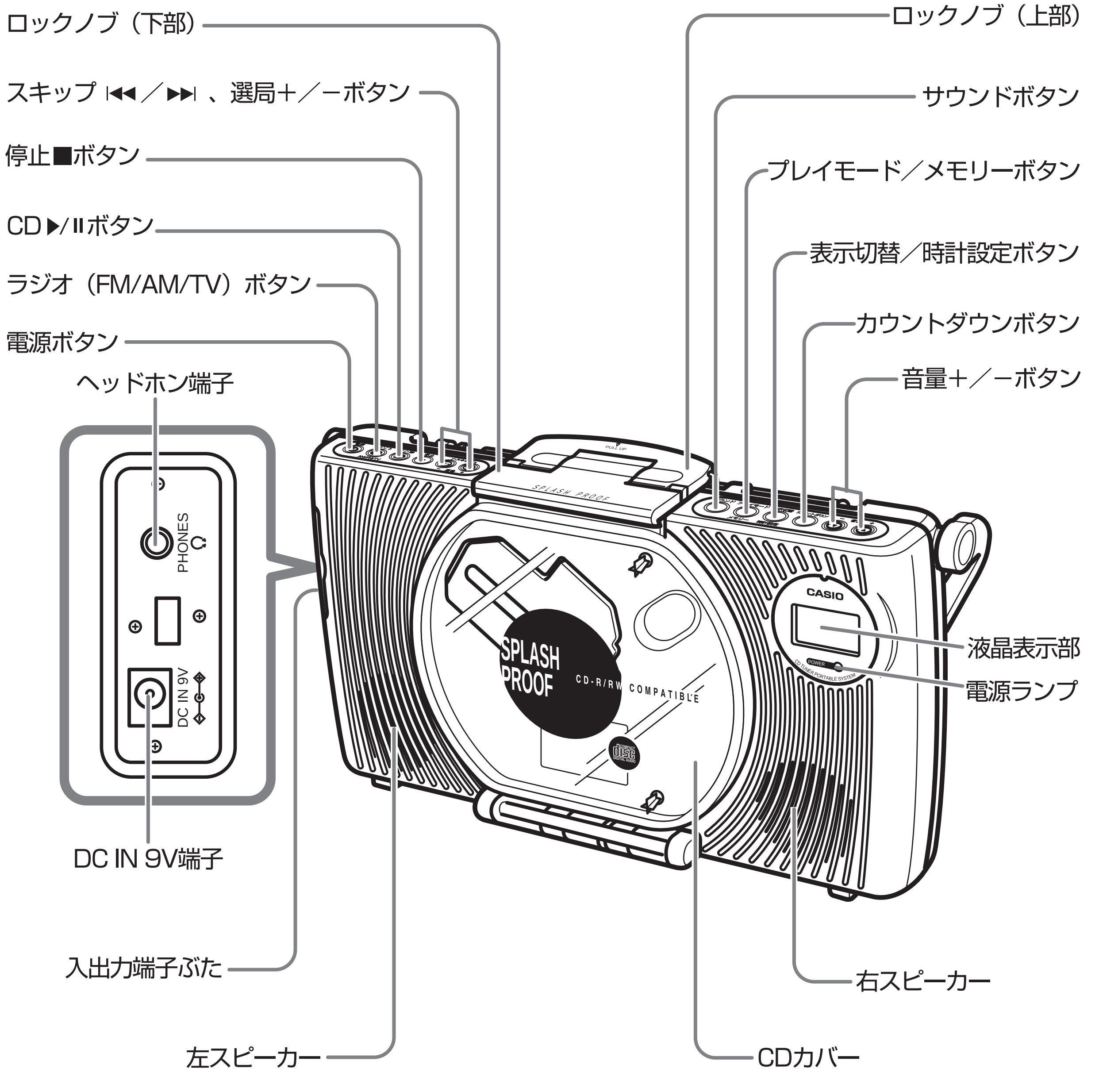
（12）水濡れ後は本機の隙間に水がたまっている場合があります。軽く振って水を抜き、拭き取ってください。水がたまったまま持ち運ぶと、水が漏れて服やバッグの中などを濡らす恐れがあります。

（13）風呂、シャワー室など湿度の高い場所に放置しないでください。使用しない場合は、すみやかに移動してください。

※ 水の中でお使いになったり、CD カバーや電池ぶた、入出力端子ぶたを開けた状態でお使いになると水が浸入します。水の浸入による製品の故障については保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

各部の名称

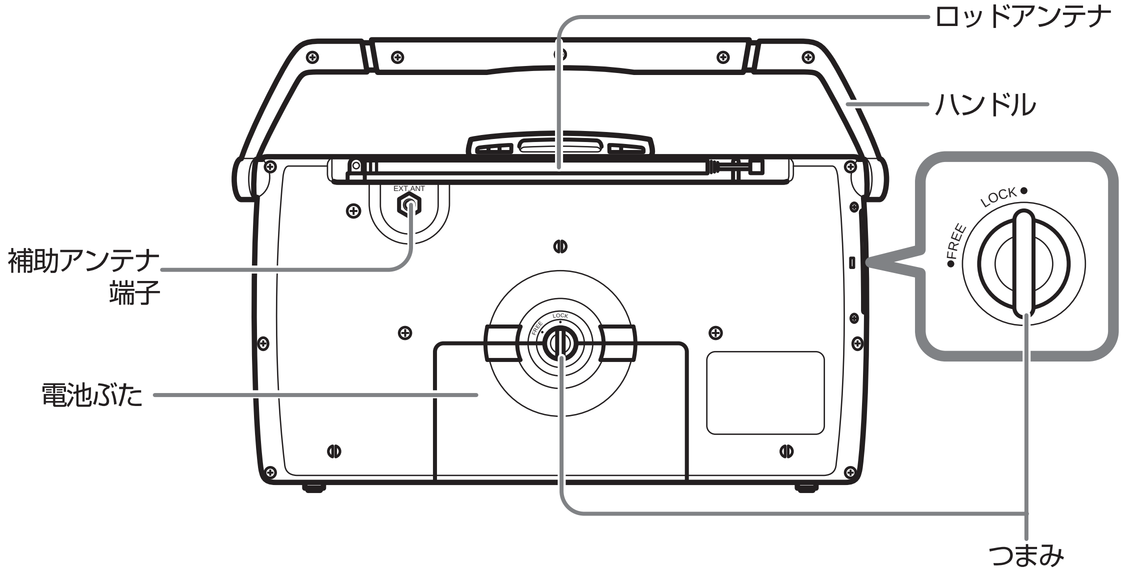
正 面



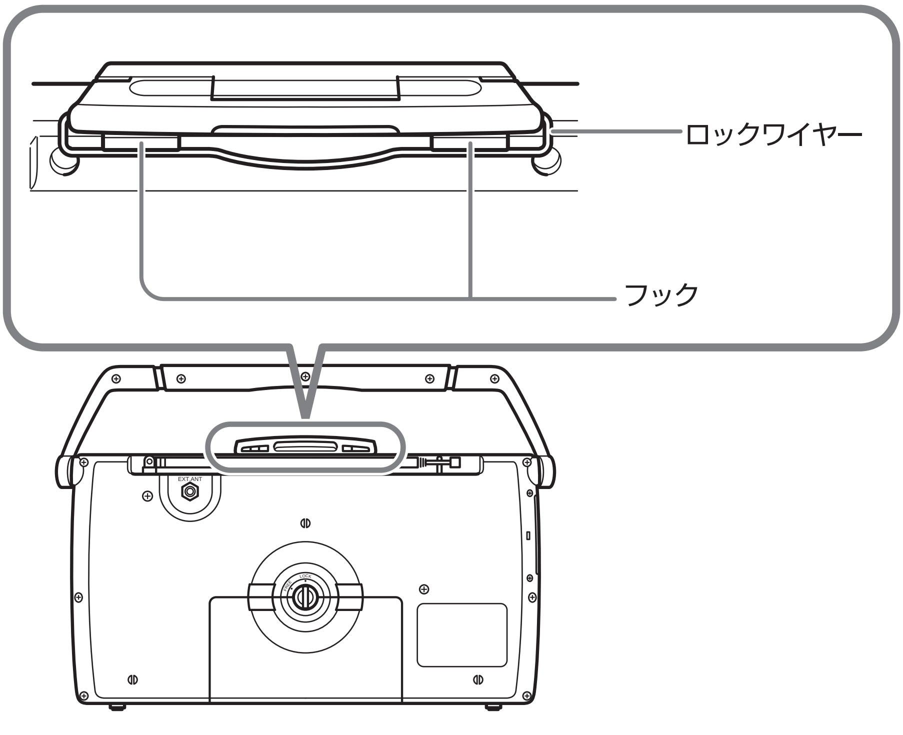
5375-920-0-01B

各部の名称（つづき）

本体背面



ロックワイヤーと本体のフック（突起部）

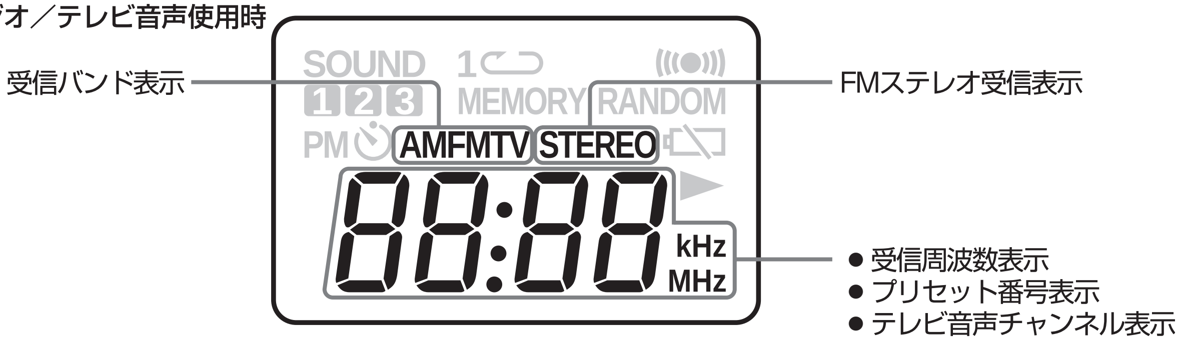


5375-920-0-01B

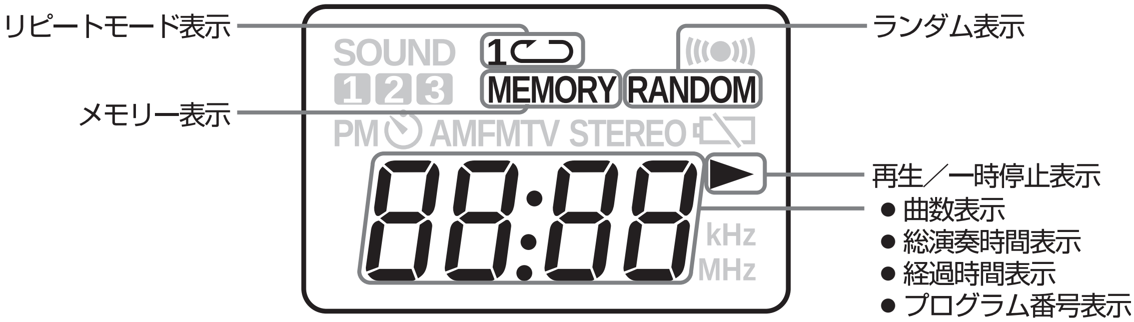
各部の名称（つづき）

表示部

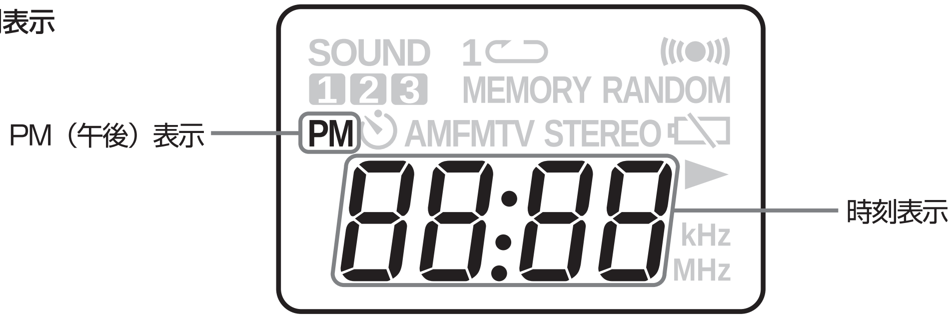
●ラジオ／テレビ音声使用時



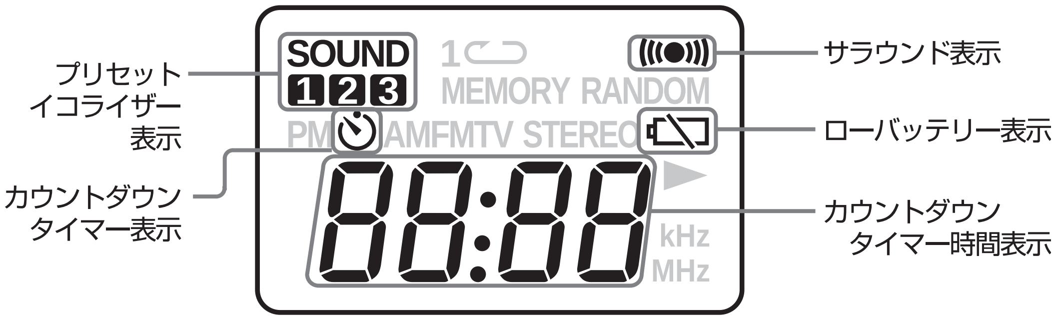
● CD 使用時



●時刻表示



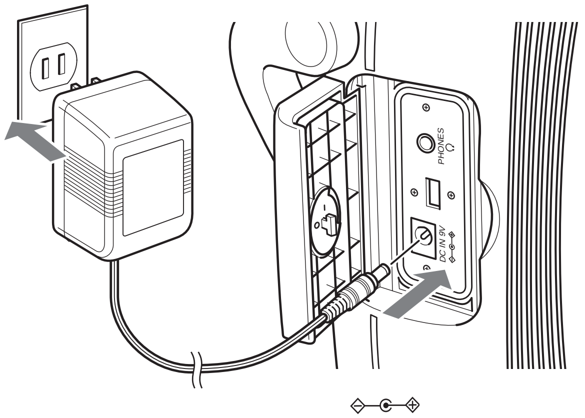
●タイマー使用時及び全般



5375-920-0-01B

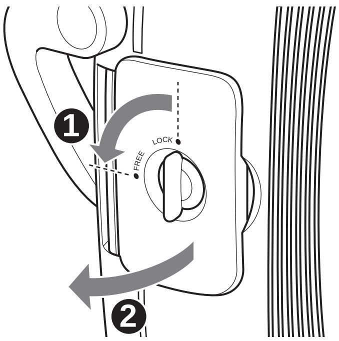
電源について 本機は家庭用電源、乾電池の 2 電源方式です。

家庭用 100V 電源で使うには（AC アダプターで使用するとき）



付属のACアダプターを家庭用コンセントに、プラグを本機のDC IN 9V端子に接続します。

- 必ず本機指定のACアダプター（EIAJ規格・極性統一形プラグ付き）をご使用ください。指定以外のACアダプターを使用すると、本体または電源の故障や思わぬ事故につながる恐れがあります。絶対におやめください。指定以外のACアダプターの使用による障害は保証できません。
- ACアダプターは、長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 本機を長期間使用しないときはACアダプターをコンセントからはずしておきましょう。
- ACアダプターを本機や家庭用コンセントから抜き差しする際は、必ず電源ボタンを押し、電源を切ってから行なってください。



入出力端子ぶたを開けるとき

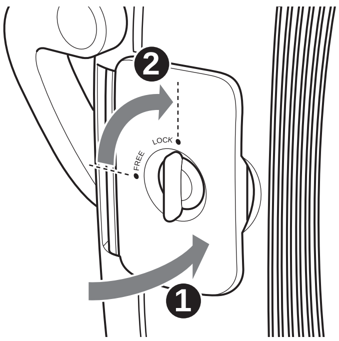
- 入出力端子ぶたのつまみをFREE（解除）の位置まで回してフタを開けて、ACアダプターのプラグをDC IN 9V端子につなぎます。

> ● 風呂場、シャワー室など湿気の多い場所でお使いになるときは、ACアダプターを使用せず、必ず乾電池でお使いください。

ご注意：● 乾電池またはACアダプターより電源が供給されている場合には、現在時刻とプリセットメモリー等が保持されています。
乾電池が入っていない場合、ACアダプターを家庭用コンセントから抜いた状態でしばらく（約 5 分）おくと現在時刻、プリセットメモリー等が消えることがあります。その際には再度設定を行ってください。

● ACアダプターをお使いにならないときは、入出力端子ぶたを閉め、つまみをLOCK（固定）の位置まで回してください。

● 表示上の都合で、本体のACアダプター端子の彫刻文字はDC IN 9Vとなっています。



入出力端子ぶたを閉めるとき

乾電池で使うには

乾電池（単3形6本）を入れる

（本機にはアルカリ乾電池を使用してください。）

1. つまみをFREE（解除）の位置まで回して電池ぶたをはずす（図1）。
2. ⊕と⊖を間違えないように単3形乾電池6本を図のように番号順に入れる（図2）。
3. 電池ぶたを閉める。つまみをLOCK（固定）の位置まで回す（図3）。

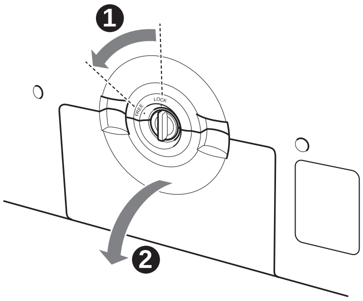


図1

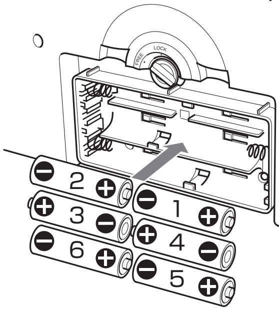


図2

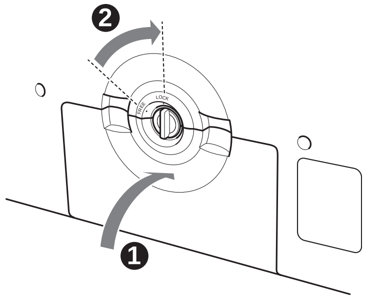


図3

乾電池を交換する目安

乾電池が消耗してくると、ノイズが増えたり、ご使用中に自動的に電源が切れたりします。このような場合には、6本とも新しい乾電池と交換してください。

- ラジオやCDを聞いているときに乾電池が消耗してくるとローバッテリー表示“ ”が点滅します。そのまま使い続けると表示部に“Lo”の表示を出した後本体の電源が切れ時計表示に戻ります。
- 乾電池を交換するときは、メモリー保持のためACアダプターを本機に接続してから行なうことをお勧めします。
- 電源が切れている時には、ローバッテリー表示“ ”は点滅しません。
- 乾電池を交換する際には、電源を切ってから行なってください。

電池は使い方を誤ると、電池の液漏れで製品が腐食したり、電池が破裂することがあります。次のことを必ずお守りください。

- ⊕ ⊖ の向きを正しく入れてください。
- 種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。新しい電池の寿命を短くしたり、古い電池から液が漏れる恐れがあります。
- 火中へ投入したり、ショートさせたり、分解・加熱をしないでください。
- 電池が消耗したら、すぐ取り出してください（放置すると液が漏れて故障の原因となります）。漏れた場合、液で皮膚を傷めないよう注意して、布でふきとってください。
- 乾電池は充電しないでください。

5375-920-0-01B

電源の入／切について

電源を「入れる」には



電源ボタンを押します。

電源ランプが点灯し、ファンクションが表示されます。

- CD ▶/II ボタンまたは、ラジオボタンを押すことにより、電源を「入れる」こともできます。

電源を「切る」には



電源ボタンを押します。

電源ランプが消灯し、時刻表示になります。

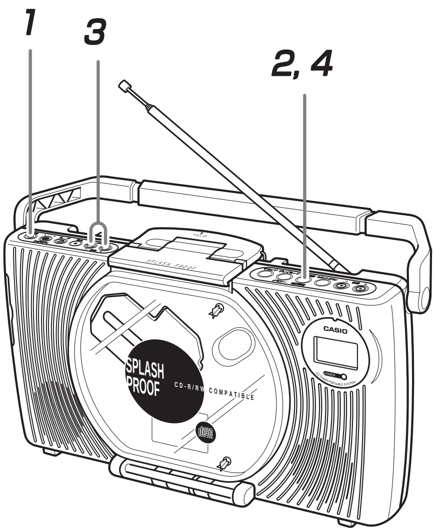
■オートパワーオフ機能

CD 停止後、ボタン操作が約 5 分間ないときは、自動的に電源が切れます。
ラジオでは、この機能は働きません。

時計を合わせるには

本機には、時計機能がついています。

● 乾電池でお使いのとき、電池の消耗の状態によっては時計の設定ができない場合がありますので、AC アダプターを接続して時計の設定をすることをお勧めします。



1 電源ボタンを押し、電源を入れる。

（電源が切れていても、設定は可能です。）

2 表示切替／時計設定ボタンを 1 秒以上押す。

「例」：午後 3：27 に合わせる

●「時」の部分が点滅します。



3 ⏮ / ⏭ ボタンで“時”を合わせる。

● “ ⏭ ” ボタンを押すと、1 時間ずつ繰り上がります。“ ⏮ ” ボタンを押すと、1 時間ずつ繰り下がります。

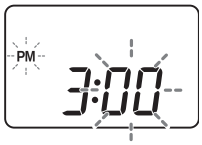
● ⏮／⏭ ボタンを押し続けると、連続して数字が増減します。



※ PM 表示にご注意ください。
時計表示のとき AM（午前）は表示されません。

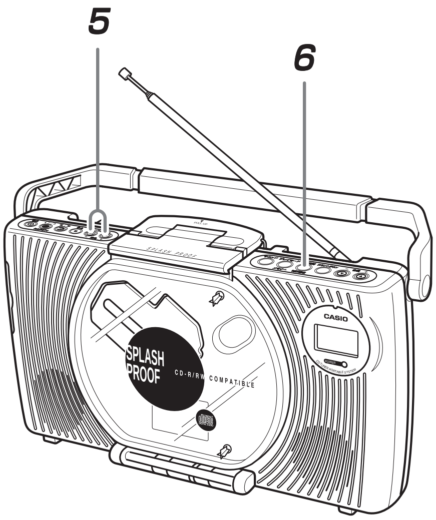
4 表示切替／時計設定ボタンを押す。

● “時”は設定され、“分”の部分が点滅します。



5375-920-0-01B

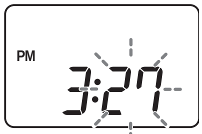
時計を合わせるには（つづき）



5 |◀◀ / ▶▶| ボタンで“分”をあわせる。

● “ ▶▶| ”ボタンを押すと、１分間ずつ繰り上がります。“ |◀◀ ”ボタンを押すと、１分間ずつ繰り下がります。

● |◀◀／▶▶| ボタンを押し続けると、連続して数字が増減します。



6 表示切替／時計設定ボタンを押す。

● 現在時刻の設定完了です。
（この時、秒が 00 にリセットされます。）



● 約２秒間表示したあと時刻設定前の表示にもどります。

■現在時刻の確認と表示切替

電源が入っている状態（例えばラジオやCDを聴いているとき）で、表示切替／時計設定ボタンを押すと現在時刻が表示されます。

● CD 停止中に、表示切替／時計設定ボタンを押すと、
総曲数、総演奏時間の交互表示←→現在時刻の表示、と切り替わります。

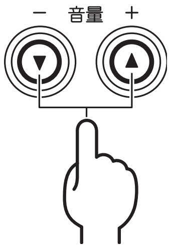
● CD 再生（およびポーズ）中に、表示切替／時計設定ボタンを押すと、
→曲番号→経過時間→現在時刻─ の順に表示が切り替わります。

● ラジオ、TV 音声受信時に、表示切替／時計設定ボタンを押すと、
周波数およびチャンネル←→現在時刻の表示、と切り替わります。

音量と音の広がりや音質について

■音量の調節

音量＋／－ボタンを押して、好みの音量に調節します。

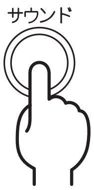


- 音量レベルが約３秒表示されます。
- 押し続けると、連続して増減します。
  最小 00 から最大 31 まで調節できます。
- 次回電源を入れた時にいきなり大きな音が出ないように、電源を切る前に音量は小さめにしておくことをお勧めします。

■音の広がりやプリセットイコライザーを変えて楽しむ

サラウンド　オリジナルサラウンドシステムはラジオ、CD どちらにも有効です。
より空間的で広がりを持った音質を楽しむことができます。お好みにより切り換えてお楽しみください。

プリセットイコライザー　プリセットイコライザーはラジオ、CD どちらにも有効です。
より豊かな音質を楽しむことができます。お好みにより切り換えてお楽しみください。



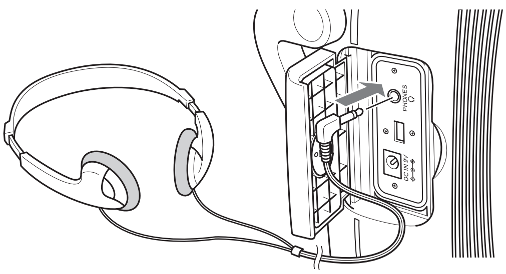
＊ 曲によっては効果の少ないものもあります。
＊ ラジオの場合は感度によって効果の少ない場合があります。
＊ サラウンドはステレオの場合のみ効果があります。

- サウンドボタンを１秒以上押すと、“((●))”マークが表示され、サラウンド ON となります。
- もう一度サウンドボタンを１秒以上押すと、“((●))”表示が消え、サラウンド OFF となります。
- サウンドボタンを押すと、プリセットイコライザーが働きます。
  押すたびに、

SOUND 1　高音を強調します。
↓
SOUND 2　高音と低音を強調します。
↓
SOUND 3　高音をおさえています。
↓
オフ

と切り換わります。
聴く音楽やお好みに合わせて切り換えてください。

■ヘッドホンで音を聴くには



- 左側面の入出力端子ぶたのつまみを FREE（解除）の位置まで回してカバーを開けます。
- 市販のヘッドホンが利用できます。
- インピーダンス 16 ～ 32 Ω（推奨 32 Ω）で、直径 3.5 Φステレオミニプラグ付ヘッドホンをお使いください。
- ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音が出なくなります。
- ヘッドホンを使わないときは、入出力端子ぶたを閉め、つまみを LOCK（固定）の位置まで回してください。
- ヘッドホンは風呂、シャワー室など湿気の多い場所では使用しないでください。

5375-920-0-01B

CD を聴くには

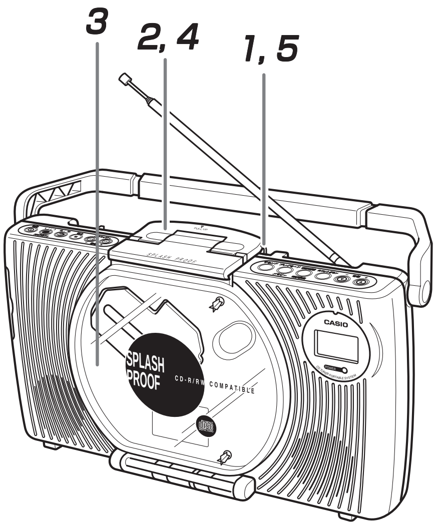
必ず下のマーク (A) (B) の入ったコンパクトディスクをご使用ください。本機では 8 センチCDもアダプターなしでご使用になれます。8 センチCDのジャケットには下のマーク（B）が入っています。

(A)　　　　　　　　(B)

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　　　CD SINGLE

● CD-R/RW の再生について

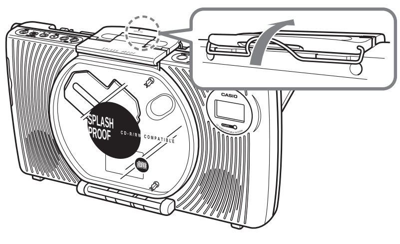
本機は、CD-R/RW 録音機器で作成した CD-R/RW ディスク（CD-DA フォーマットのみ）の再生も可能です。
CD-R/RW ディスクの状態や記録状態、記録機器の状態によっては、本機で音飛び、ノイズが発生したり、再生できないものがあります。



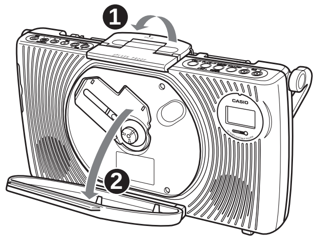
● CD を再生する場合には CD の状態を良く確認し、最初にクリーニングしてからお使いになる事をお勧めします。

1 ロックワイヤーを上げる。

● 本体のフック（突起部）とロックワイヤーの噛み合わせが解除されます。

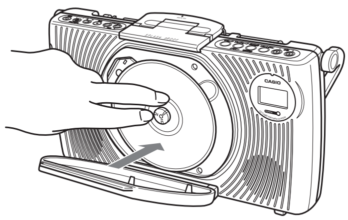


2 ロックノブを上げて CD カバーを開ける。

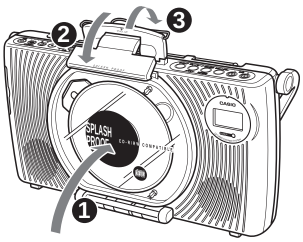


3 CD を入れる。

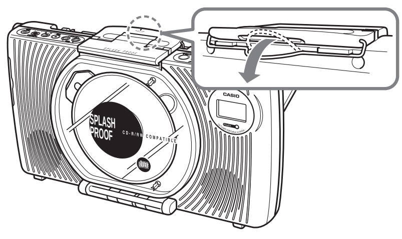
● ラベル面を手前にし、ディスクの中心に近い所に 2 本の指を対にのせて、カチッと音がするまで上から軽く押します。



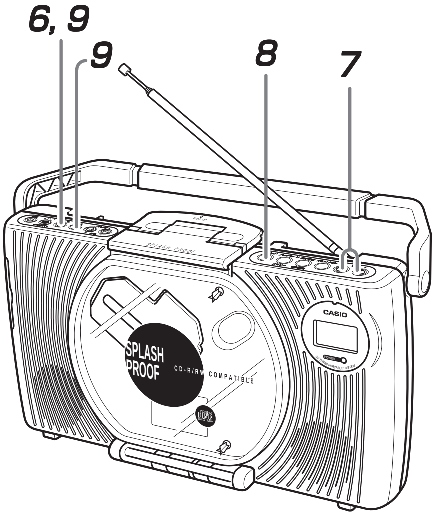
4 CD カバー上部とロックノブの先端を噛み合わせてロックノブ上部を押し下げてCDカバーを閉める。



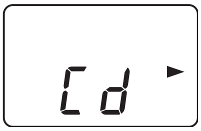
5 ロックワイヤーを下げて、本体のフック（突起部）に噛み合わせて固定する。



CD を聴くには（つづき）



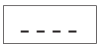
6 CD ▶/II ボタンを押す。



- CD の再生を開始します。
- 曲番号が表示されます。
- このとき、表示切替／時計設定ボタンを押すと、押すたびに、以下のように表示が切り替わります。

→ 曲番号 → 経過時間 → 時刻表示

- CDが入っていないときまたは読み取れなかったときは、表示部に



と表示されます。

7 音量＋ / －ボタンで音量を調節する。

8 音質を選ぶ。

サウンドボタンでサラウンド、プリセットイコライザーをお好みに応じて設定してください。（18 頁参照）

9 再生を停止するには。

停止 ■ ボタンを押します。

再生を一時停止するには。

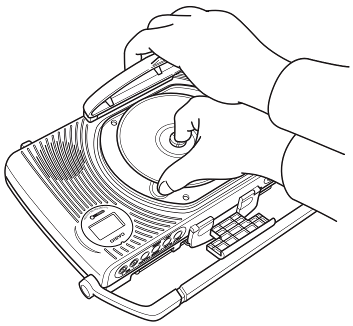
CD ▶/II ボタンを押します。

- 表示部の曲番号または経過時間と ▶ マークが点滅します。もう一度 CD ▶/II ボタンを押すと、同じ位置から再生を再開します。
- 現在時刻表示のときは、時計表示はそのままで ▶ マークが点滅します。

ご注意

携帯電話などの電子機器を近くで使っている場合、雑音が入ることがあります。その場合は、本機から離してご使用ください。

■ディスクの取り出しかた



本体を、CD カバーが上になるように寝かせ、CD カバーを開け、中心の黒い部分を押えながら端の方からつまみ上げます。

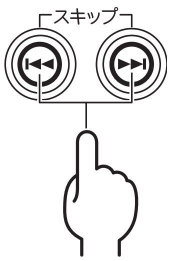
5375-920-0-01B

いろいろな聴きかた

■飛び越し選曲（スキップ）するには

CD 再生中に ⏮ / ⏭ ボタンを押すごとに、前後の曲の頭出しができます。

再生中に



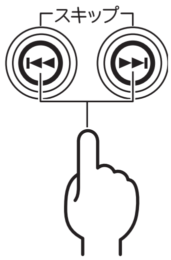
⏭ ：次の曲の頭に進む。
（押すごとに、曲番が進みます。）

⏮ ：再生中の曲の頭に戻る。
（ 2 回以降は押すごとに、曲番が戻ります。）

■聴きたい曲から再生を開始するには

CD 停止中に ⏮ / ⏭ ボタンを押して聴きたい曲を選んだ後、CD ▶/II ボタンを押します。

停止中に

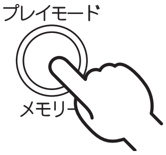


⏭ ：押すごとに、曲番が進みます。

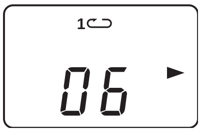
⏮ ：押すごとに、曲番が戻ります。

■リピート・ランダム再生するには

プレイモード／メモリーボタンを押すごとに、下記のように切り換わります（曲番号の表示例）。



① 1　１曲リピート　（再生中の曲を繰り返し再生します。）



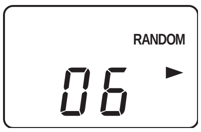
↓

② 　全曲リピート　（ディスクの全曲を繰り返し再生します。）



↓

③ RANDOM　ランダム　（ディスクの全曲を無作為に再生します。）



↓

④ 表示なし　モード解除



※ 経過時間または現在時刻の表示のときに、上記再生を行ったときには、経過時間または現在時刻が曲番に代って表示されます。

■ランダム再生（無作為に曲を再生）

ランダムに曲番号を選択し、曲のはじめから再生を開始します。　また、選曲中は曲番号の表示はランダムに変化します。

※ CD ▶/II ボタンを押さなくても再生が始まります。

※ ランダム再生はディスクの全曲が終了した後、停止状態になります。

※ 再生中にランダムを選ぶと、その曲の終了後ランダム再生となります。

5375-920-0-01B

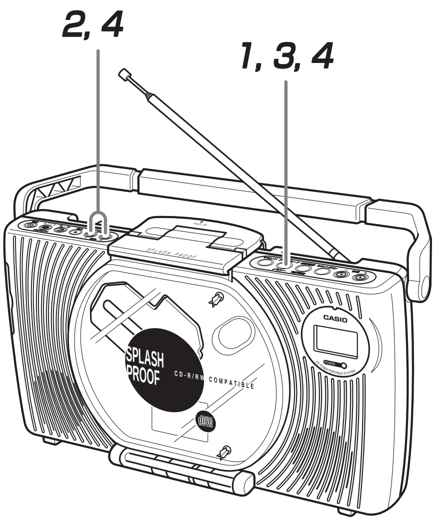
■プログラム再生

CD モードで停止中に行います。

１枚のディスクの中から、最大24曲プログラムできます。

準 備

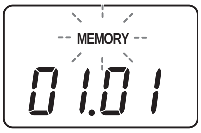
- CD を入れます。
- CD ▶/II ボタンを押して CD モードにし、 停止 ■ ボタンを押して停止状態にします。



1 停止中にプレイモード／メモリーボタンを１秒以上押す。

MEMORY 表示が点滅します。

- 約30秒間入力がないと、元の停止モードに戻ります。



2 プログラムしたい曲番を選ぶ。

|◀◀ / ▶▶| ボタンを押して選びます。

▶▶| ：曲番が進む

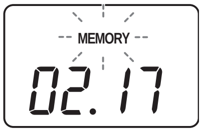
|◀◀ ：曲番が戻る

例： プログラム番号１番に17曲目の曲を設定する。



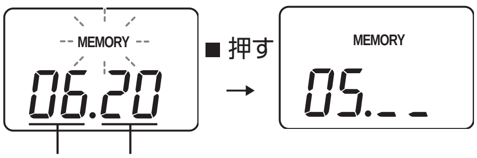
3 登録する。

- プレイモード／メモリーボタンを押して登録します。
- プログラム番号１番が登録され、プログラム番号２番の設定状態の表示になります。



4 繰り返し入力する。

- 登録する曲数だけ *2*～*3* の操作を繰り返す。
- 必要な曲数（23曲以内）を登録したあと、停止 ■ ボタンを押すとプログラムを終了し、停止状態となります。MEMORY表示は点灯に変わります。



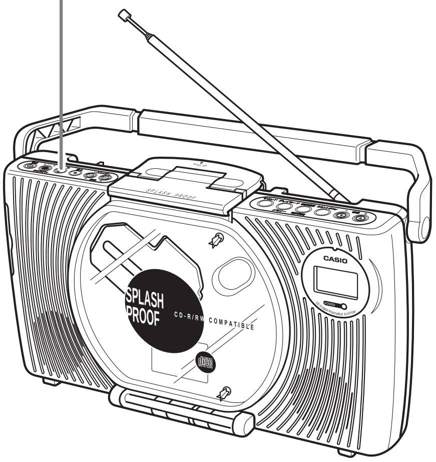
プログラム番号６番

プログラム番号５番に登録された曲番

現在時刻表示のときに設定をした場合は、現在時刻が表示されます。

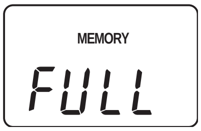
（次頁に続く）

5

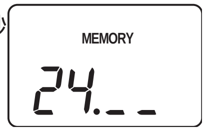


（前頁から続く）

● 24曲を越えてプログラムすることはできません。FULL表示になります。このとき、MEMORY表示は点灯に変わります。



約2秒後 →



● 現在時刻表示のときに設定を行なったときには、現在時刻が表示されます。

5 プログラム曲を聴く。

● CD ▶/II ボタンを押します。

※ CDプログラム再生中の飛び越し選曲は、21ページの「飛び越し選曲するには」を参照してください。

■プログラムを繰り返し聴くには

プレイモード／メモリーボタンを押すことによりプログラムモード時でも下記のように切り換わります。（＊プログラム中はランダム再生はできません。）

① 1　　1曲リピート
↓
② 　　プログラム全曲リピート
↓
③ 表示なし　　リピート解除

■プログラムを確認するには

CD停止中、プログラム内容があるときに ◀◀ / ▶▶ ボタンを押すと、プログラムの内容が確認できます。プログラムした順番に曲番が表示されます。

■プログラム再生を解除するには

● CD再生中に停止 ■ ボタンを押します。このとき、プログラム内容は記憶されています（“MEMORY”が点灯表示されています）。

もう一度停止 ■ ボタンを押すと、プログラム内容は消えます（“MEMORY”表示が消えます）。

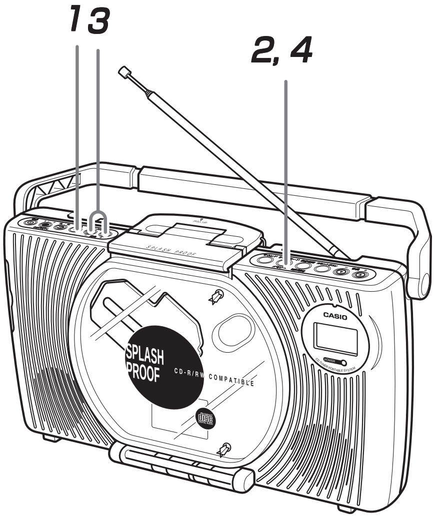
● CDドアを開けると、プログラム内容は消えます。

● プログラムの解除（消去）は全曲の解除です。プログラムの一部を解除することはできません。

5375-920-0-01B

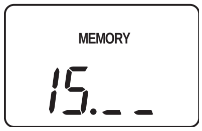
■プログラム曲を追加するには

● 最大24曲の範囲内で、最後の曲の後に曲を追加することができます。



1 プログラムモードで停止している状態で操作する。

● プログラム再生中の場合、停止 ■ ボタンで再生を止めます。このとき、“MEMORY”は点灯しています。

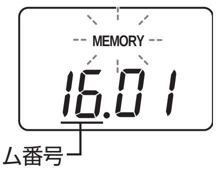


※ 上の表示例は、15曲がプログラムされている場合です。

2 プレイモード／メモリーボタンを1秒以上押す。表示部に“MEMORY”が点滅します。

● 曲が登録されていないプログラム番号が表示されます。

● すでに24曲登録されている場合は、本体表示部に、“FULL”と表示され、追加することはできません。



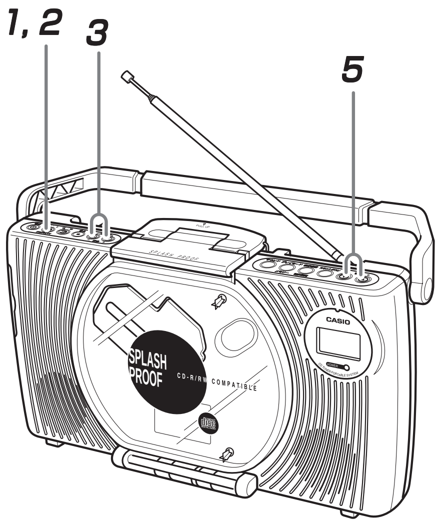
※ 追加するのは16曲目ですので、プログラム番号に「16」と表示されます。

3 ⏮ / ⏭ ボタンを押し、追加したい曲番を表示させる。

4 プレイモード／メモリーボタンを押して登録する。

ラジオを聴くには ーマニュアル選局・オート選局の場合ー

選局方法は、マニュアル選局・オート選局・プリセット選局の 3 通りがあります。



● マニュアル選局は、⏮ または ⏭ ボタンを押すごとに、下記のように周波数が変ります。

	1 ステップ
FM	0.1MHz ずつ（76.0-90.0 MHz の間）
AM	9 kHz ずつ（522-1629 kHz の間）
TV	1ch ずつ（1-12ch の間）

※ TVのステレオ放送はモノラル音声で、2 か国語放送は主音声で受信します。

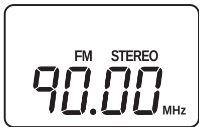
1 ラジオボタンを押す。

● 電源が入り、ラジオモードになります。

2 ラジオボタンでバンド（FM/AM/TV）を選ぶ。

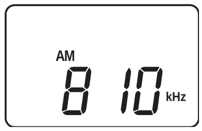
● ラジオボタンでお好みのバンドを選びます。ボタンを押すごとに、表示が変わります。

FM受信時



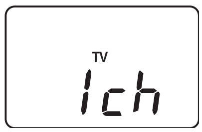
←MHz を表示

AM受信時



←kHz を表示

TV 音声受信時



● FMステレオ受信時に“STEREO”のマークが点灯します。

3 放送局を選ぶ。

マニュアル選局の場合

⏮ または ⏭ ボタンを押します。

⏭ ＝ 押すごとに各バンドの周波数が 1 ステップ単位で上がります。

⏮ ＝ 押すごとに各バンドの周波数が 1 ステップ単位で下がります。

オート選局の場合（FM/AM の場合のみ）

⏮ または ⏭ ボタンを 1 秒以上押したあとはなします。

⏭ ＝ 周波数が上がります。

⏮ ＝ 周波数が下がります。

● 押した方向にオート選局し、受信したところで止ります（押しているあいだは止りません）。

4 アンテナを調節する。

● 後述の「アンテナの調節」29ページ参照。

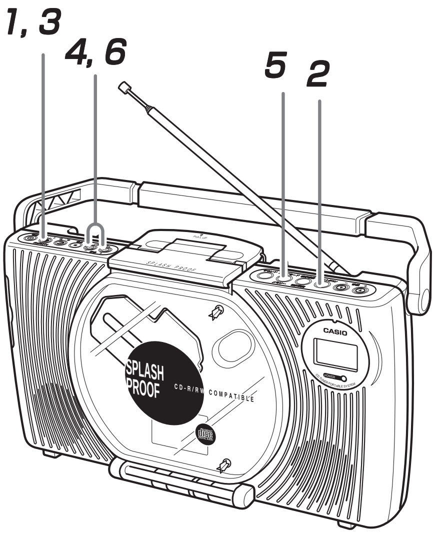
5 音量＋ / －ボタンで音量を調節する。

5375-920-0-01B

ラジオを聴くには —プリセット選局の場合—

■プリセットを登録するには

AM放送15局、FM放送15局の合計30局までの放送局に番号を付けて登録させておくことができます。これをプリセットといいます。
プリセットしておくと、次からは番号を選ぶだけで、受信できるようになります。
なお、TVはプリセットできません。



1 ラジオボタンを押す。

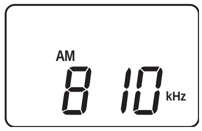
以下の例は、プリセット番号6番 にAM 810 kHz をメモリーする手順です。

2 現在時刻表示になっているときには、表示切替／時計設定ボタンを押してラジオ（FMまたはAM）の表示に切り換える。

〈プリセットする〉

3 ラジオボタンを押しプリセットしたいバンド（AM）を選ぶ。

4 選局＋／－ボタンを押して放送局を選ぶ。



例： AM 810 kHz

● 26ページ の *3* 参照。

5 プレイモード／メモリーボタンを1秒以上押す。

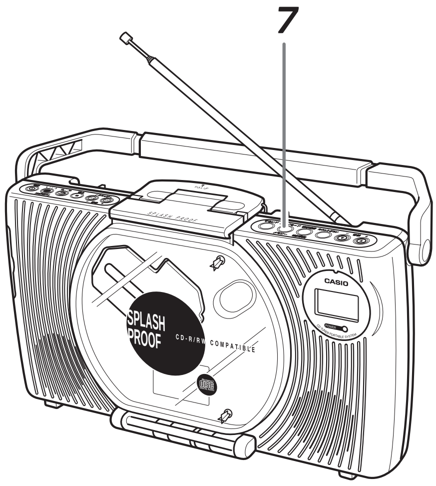
● プリセット入力モードになり、“P-01” が点滅します。



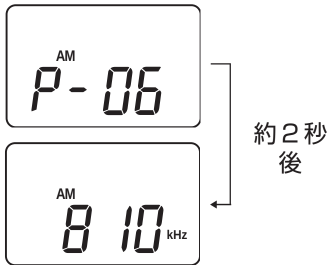
6 ⏮ または ⏭ ボタンで登録したいプリセット番号を選びます。



ラジオを聴くには ―プリセット選局の場合―



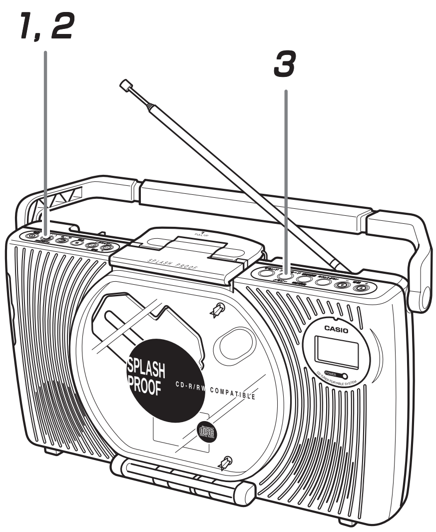
7 プレイモード／メモリーボタンを押し、登録を終了する。



- 続けてプリセットするときは、手順*3*～*6*を繰り返します。
- 最大でAM15局､FM15局まで登録できます。
- プリセット登録モード中に停止■ボタンを押すと､プリセット登録モードが解除されます。
- *5*､*6*､*7*の設定はそれぞれ30秒以内に行なってください。

〈プリセット完了〉

■プリセットを呼び出すには



1 ラジオボタンを押す。

2 ラジオボタンでバンド(FMまたはAM）を選ぶ。

ラジオボタンでお好みのバンドを選びます。ボタンを押すごとに、表示が変わります。

3 聴きたいプリセット番号が表示されるまで、プレイモード／メモリーボタンを繰り返し押す。

■プリセットを変更するには

プリセット登録のしかたと同じ操作をし、プリセットを変更したい番号に登録します。
このとき、もとのプリセットは失われ、新しく選んだ放送局に更新されます。

5375-920-0-01B

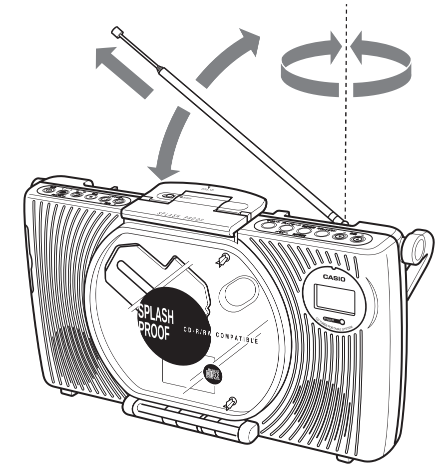
ラジオの受信について

■ FMステレオ／モノラルの切り換え

●FMステレオ放送を受信中にラジオボタンを1秒以上押し続けると、モノラルに切り換わります（受信状態が悪いときに聞きやすくなります）。
ステレオに戻すときには、もう一度ラジオボタンを1秒以上押し続けます。ステレオに切り換わります。

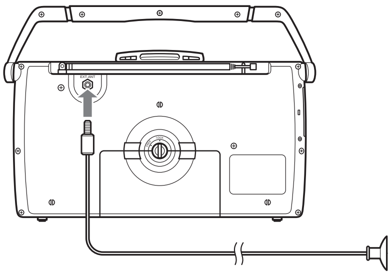
■アンテナの調整

● FM/TV 放送受信時

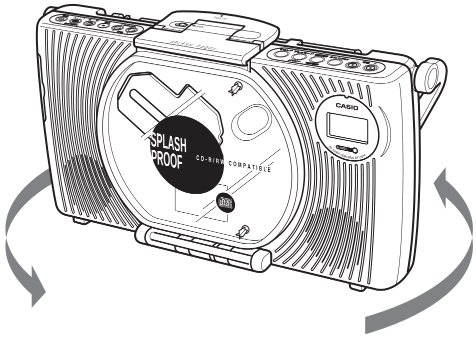


● ロッドアンテナの長さ・角度・方向を変えて受信状態がもっとも良くなるよう調節します。
● ノイズが大きい等、受信状態が良くない場合、ACアダプターのコードの引き回しを変えてみてください。

● お風呂場等ロッドアンテナが伸ばせない場所で使用するとき、補助アンテナが使用できます。図のように背面の補助アンテナ端子に補助アンテナをネジ込んで接続し、伸ばしてお使いください。先端の吸盤を壁等に吸着させてお使いになると便利です。



● AM 放送受信時



● 内蔵のバーアンテナが働きます（ロッドアンテナは働きません）。本機を動かして、最も受信状態の良い方向に向けます。

重要

テレビの近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れるときがあります。
このようなときは、本機を離してご使用ください。
本機のTV受信回路は、FM受信回路と兼用しております。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

ご注意

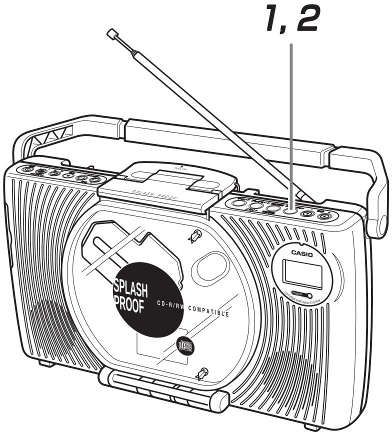
● 携帯電話などの電子機器を近くで使っている場合、雑音が入ることがあります。その場合は、本機から離してご使用ください。

5375-920-0-01B

カウントダウンタイマー

1分から99分まで、1分単位で設定できます。時間になると、アラーム音が知らせてくれます。

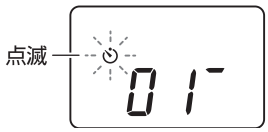
電源が切れていても(電池またはACアダプターから電源が供給されているときは)利用できます。



1 カウントダウンボタンを押す。

● カウントダウンタイマーの設定モードになります。

● ⏲ マークが点滅します。



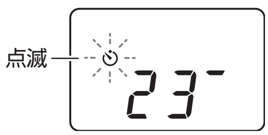
● *2*に進んでください。何も入力がないと、3秒後に設定モードが解除されタイマーがスタートしますので、⏲ マークが点滅している間に希望の時間を設定してください。

2 タイマー(時間)を設定する。

● ⏲ マークが点滅している間にカウントダウンボタンを短く押すと、押した回数だけ1分ずつ上がってゆきます。

● ⏲ マークが点滅している間にカウントダウンボタンを押し続ける(押さえたままにする)と、10分単位で上がってゆきます。

● 希望の時間になったらボタンから指を離します。



※ 23分に設定した表示例

3 カウントダウンボタンから指を離した後、3 秒後にタイマーがスタートします。

● ⏲ マークが点灯に変わり、カウントダウンタイマーが作動していることを示します。

● 電源を切っていても、カウントダウンタイマーは有効です。

4 設定時間になると、スピーカーより約1分間アラーム音が鳴ります。

● CD、ラジオを聴いているときは、それらの音が消えてアラーム音のみとなります。

5 アラーム音を止めるには

● カウントダウンボタンを押します。
CD、ラジオを聞いていた場合には、その音が元に戻ります。

● 電源ボタンを押しても、アラーム音は止ります(電源は切れた状態になります)。

■カウントダウンタイマーの確認

● カウントダウンボタンを短く押すと、残り時間を確認することができます。約5秒間表示されます。また、その間に再びカウントダウンボタンを押すと、⏲ マークが点滅に変わり、設定時間を変更することができます。

■カウントダウンタイマーの解除

● ⏲ マークが点灯しているときにカウントダウンボタンを1秒以上押し続けると、⏲ マークが消え、カウントダウンタイマーは解除されます。

ご注意

● 電池での動作の時、電池の消耗の状態によっては、カウントダウンタイマーの設定ができていてもアラーム音が鳴らないことがあります。その場合には、すみやかに電池を交換してください。

お手入れについて

本体は、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に少しつけ、よくしぼった後にふいて、その後からぶきしてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
（変色や変質のおそれがあります。）

故障とお思いになる前に

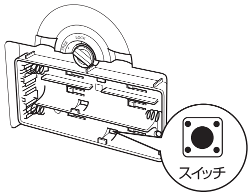
● 使用方法を間違えますと、調子がおかしくなり故障と思いがちですが、修理を依頼する前に次の点検をしてください。

現　象	原　因	解　決　法	参照
ラジオもCDも作動しない。 アラーム音が鳴らない。	ACアダプターがコンセントより抜けていませんか。	ACアダプターをコンセントに差し込む。	13
	乾電池は入っていますか。	乾電池を入れる。	14
	乾電池が消耗していませんか。	新しい電池と交換する。	14
スピーカーから音が出ない。	ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。	ヘッドホンを抜く。	18
	音量が下がっていませんか。	音量＋ボタンを押して音量を上げる。	18
ディスクを入れても再生されない。	ディスクが裏返しに入っていませんか。	ラベル面を手前にして入れる。	19
	ディスクがひどく汚れていませんか。	汚れをふき取る。	8,19
	ディスクが正しくセットされていますか。	ディスクを正しくセットする。	19
ディスク再生中に音とびが発生する。	衝撃や振動のあるところで使用していませんか。	設置場所を変える。	—
	ディスクの状態がわるく（汚れ、キズ、ソリなど）ありませんか。	汚れをふき取る。 （痛んでいるディスクは使わない。）	8
再生が止る。ノイズが入る。	電子機器（携帯電話等）を使用していませんか。	本機から離して使う。	20,30

● 本機を0℃前後から暖かい場所へ移したとき、正常に作動しないことがあります。これは本機の内部に露が発生したためで、約1時間程すれば正常に戻ります。

異常がおきたときは

本機はマイコンを使用しております。本機を使用中に、衝撃過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常などの影響を受けた場合や、誤った操作をした場合などに操作を受け付けなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、次の様にしてください。
なお、次の操作を行った場合には、ラジオのプリセットや現在時刻の再設定を行ってください。
（A）電池ぶたを開け、図に示すスイッチを細い棒（つま楊枝等）で押す。
（B）（A）で正常に戻らない場合は、次の様にしてください。
① ACアダプターをコンセントから外し、乾電池を取り外す。
② しばらく（数時間）そのままにしておく。
③ ACアダプターをコンセントにつないで（乾電池を入れて）操作する。



5375-920-0-01B

主な仕様　ー本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。ー

■CDプレイヤー部

型　　　式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
信号読みとり方式	非接触光学式（半導体レーザー使用）
チャンネル	2チャンネル
周波数特性	20ー20.000 Hz ± 3dB
ワウフラッター	測定限界以下（EIAJ）

■ラジオ部

受信周波数	FM:76 ～ 90 MHz AM:522 ～ 1629 kHz TV:1 ～ 12 ch
アンテナ	FM/TV：ロッドアンテナ／補助アンテナ AM:内蔵フェライトバーアンテナ

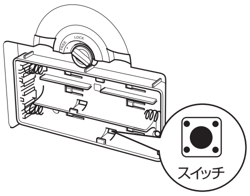
■共通部

スピーカー	5cm 丸型、6 Ω× 2
出力端子	ヘッドホン：ステレオミニジャック（推奨インピーダンス 32 Ω）
実用最大出力	1W ＋ 1W（EIAJ） （CD 再生時）
電　　　源	DC 9.5V（付属ACアダプター） DC 9V （単 3 形乾電池 R6 × 6 本）
電池持続時間	CD 再生時 .... 約 8 時間 ラジオ受信時 .... 約 9 時間 単3形アルカリ乾電池LR6使用時 サラウンドオフ時
最大外形寸法	318 × 224 × 87(WHD) (突起部含む)
質　　　量	約 1.6 kg（乾電池含む）

■付属品	ACアダプター(AD-L95075A)×1 取扱説明書（本書）× 1 補助アンテナ× 1 保証書× 1

異常がおきたときは

本機はマイコンを使用しております。本機を使用中に、衝撃過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常などの影響を受けた場合や、誤った操作をした場合などに操作を受け付けなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、次の様にしてください。
なお、次の操作を行った場合には、ラジオのプリセットや現在時刻の再設定を行ってください。
（A）電池ぶたを開け、図に示すスイッチを細い棒（つま楊枝等）で押す。
（B）（A）で正常に戻らない場合は、次の様にしてください。
① AC アダプターをコンセントから外し、乾電池を取り外す。
② しばらく（数時間）そのままにしておく。
③ AC アダプターをコンセントにつないで（乾電池を入れて）操作する。



CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543
東京都渋谷区本町1-6-2

Printed in China
5375-920-0-01D
0301